

## 『良い牧者に導かれる』 ヨハネの福音書10章1～16節 2018.4.15(聖日礼拝説教より)

『主は私の羊飼いです…主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れませんが、あなたが私とともにおられますから。』 詩篇 23篇1～4節

①主は羊飼いです、私たちは羊(ヨハネ 10:1～11)…「導く神」と「従う私たち」の関係を最も直接的に表現しているのが、「羊飼いです」と「羊」。イスラエルの羊飼いは、草と水場を探して荒野を転々として羊を野獣から守る！彼らは、自分の羊の名を呼んで先導し、命がけで獅子や熊を追い払って守る！羊も羊飼いの声を聞き分けて(10:3～5)、彼から目を離さなければ絶対に道に迷うことなく安全！私たち羊は、弱いくせに、わがままで強情で、世のことに気をとられて羊飼いを失う。しかし迷える小羊を命懸けで捜し出して連れ戻す羊飼いにこそ神の姿(イザヤ 40:11)！その神から離れた私たちを、イエス様は『…羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れて…かわいそうに思われた(マタイ 9:36)』！★本当の荒野を知らない日本人も、「人生の荒野」は知っている！心は渇き、疲れ果て、先が見えない不安…。吠えたける獅子のような悪魔が常にスキを狙う！どうやってついてゆくべきイエスの姿を見る？今の私たちは、聖書にあるイエスの人格に触れ、その御言葉を通して御声を聞く(Ⅰペテロ 1:8～9)！

②御言葉がリアルにイメージする主イエスについて行く…聖書に記されるイエス様は、時にとても厳しいが、圧倒的に優しく、憐れみ深い(マタイ 11:28)！ラザロの墓の前で涙を流し(ヨハネ 11:35)、罪人を招き、憐れまれるイエスの言葉や態度はリアルで慰め深い！イエス様は今も生きて私たちを導かれる！『求めなさい。そうすれば与えられる(マタイ 7:7)』を、そのまま信じて行なえば、人生は必ず豊かにされる。ヨハネ 10:10の「命を得る」とは「罪の裁き・滅びからの救い」！その命を「豊かに(有り余るほど／溢れ流れ出るほど)持つ」とは、救いの恵み、栄えに満ちた喜びや感謝が、私から溢れ流れ出て隣人を潤し、救いに導くことを意味する。

★「教会」とは、単に会堂でキリスト教の教えを聞いたり、宗教行事に参加したりする所ではない！主に導かれ、主の御心に従い、ついていくことが「信仰生活」！教会(エクレーシヤ:主に呼び集められた者の群れ)の、本当の呼び名は、「キリストに導かれている会」「キリストに従っている会」！日々御言葉を聞く時、具体的なイエス様のイメージをつかみ、その生の声を聴いて従いたい！